

## JERCOでは持続可能な社会づくりのため 8つのターゲットを目標に設定して取り組んでいます。



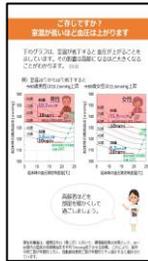
**3** すべての人に健康と福祉を

断熱省エネリフォームにより冬季の室温を18℃以上にして健康快適な住宅を提供する

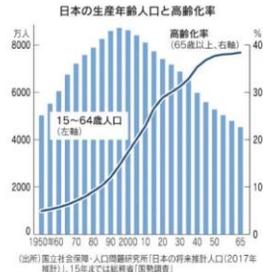
**5** ジェンダー平等を実現しよう

2030年までに女性社員が活躍できるように、より楽しくいきがいをもちながら働ける環境を整える

WHO（世界保健機構）は冬の室温を18℃以上にするを強く勧告しています。高齢者、小児にはもっと暖かくすることを推奨しています。医療とも連携して断熱省エネリフォームの健康効果について啓発活動します。



国内の生産活動を中心となって支える15～64歳までの生産年齢人口が減少し、高齢化率が上昇し上がります。そうなる、女性の社会進出が絶対不可欠になります。リフォームは生活の改善を主として、家事・炊事などのご提案からも女性の活躍が必須となることから、女性の活躍を推進します。



**4** 質の高い教育をみんなに

**8** 働きがいも経済成長も

将来の職人不足に向けて、職人志望者の幹線、職人教育システムの構築をし、業界平均年齢40代を維持する

**17** パートナシップで目標を達成しよう

リフォームの全国組織、日本住宅リフォーム産業協会を通して、自治体と企業、そして地域住民と、リフォーム事業を通して有機的に統合し合い、社会的課題の解決に貢献することを目標とする

およそ40年ほど前には年間200万戸近くの住まいが供給。大工さんを筆頭に、40代の働き盛りの職人さんがたくさんいました。バブル崩壊、人口減、ホワイトカラーへの移行で3Kの職人さんの担い手が減少。更に職人さんの高齢化。1980年に93万人いた大工さん。2000年に64万人。2015年に35万人。2020年に20万人。2030年に20万人。家づくりの発注構造が変わり、職人さんを抱えない外注という事業形態が一般化。ここには発注側、職人さん両方のメリットがある一方、発注側からの上からの目標、職人さんへの尊敬や感謝、人との繋がりも希薄に。



以上3つのSDGsへの取り組み目標を達成するためには社員一人一人、パートナー企業のみならず、メーカー会社のみならず、行政機関、業界団体、地域のみならず、ジェルコ会員企業とより多くの方々の協力が必要です。2030年に向けて具体的な目標数値をクリアしていくことでSDGsへの取り組みの評価を得てジャパンSDGsアワードを受賞することを目指します。

**11** 住み続けられるまちづくりを

**12** つくる責任 つかう責任

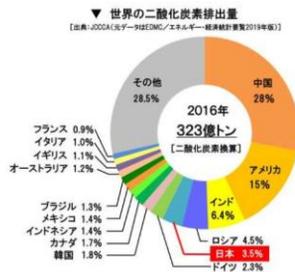
**13** 気候変動に具体的な対策を

解体などのゴミの削減量を会員に提供し、2030年に解体費用20%削減し、脱炭素社会に貢献し、温暖化の抑制で災害を減少させる

JERCO SDGsの取り組みはこちら➔



世界の二酸化炭素排出量の内、日本が全体の3.5%、世界で5番目に排出しております。私たちがリフォーム業界は、まずは解体工事から入り、莫大なゴミを排出しております。当然、解体時のゴミもそうですし、新しい床材などを腐つけないように保護するシート材も工事が終われば処分します。他にも材料を梱包してくるゴミ、廃材など、とにかくゴミの量が多く発生するのが、リフォームです。



今回は感電ブレーカーと停電しても消えない照明で第10回  
ジャパン・レジリエンス・アワード 国土強靭化担当大臣賞  
を受賞された株式会社エコミナミさまをご紹介します。

# 株式会社エコミナミ&日本防災スキーム株式会社は第10回ジャパン・レジリエンス・アワードで国土強靭化担当大臣賞を受賞されました。

株式会社 エコミナミ

設立：1987年6月1日

本社：東京都稲城市東長沼

主要事業：遠赤外線床暖房「ゆかだんパオ」、輻射冷暖房システム「ラジアン」他、健康・環境・省エネに配慮した製品の開発、製造、販売、長府製作所製品をはじめとする住宅設備の販売、施工、総合リフォーム、アフターサービス等



株式会社エコミナミ  
日本防災スキーム株式会社  
代表取締役 佐藤 央氏



ブレーカー作動後も消えない電球「tsuita」を開発した日本防災スキーム株式会社は株式会社エコミナミを母体とし、防災に特化した製品の開発・販売に専念するため2022年に設立された社内ベンチャー。

健康・環境・省エネに配慮した快適な暮らしの創造と普及を経営理念としております。今後の社会がむかってくる動向を読み取り、そしてお客様からのご意見などを基に社員とともにさらなる製品・サービスの開発、製造、普及活動を行ってまいります。

## 1. 初代国土強靭化担当大臣賞受賞

ジャパン・レジリエンス・アワードとは強靭な国づくり、人づくり、産業づくりを発掘・評価・表彰する制度です。

第10回を迎えた2024年、政府の国土強靭化推進本部（本部長：内閣総理大臣）、副本部長（国土強靭化担当大臣）が表彰することとし、「内閣総理大臣賞」「国土強靭化担当大臣賞」が新たに創設され、岸田文雄内閣総理大臣、松村祥史国土強靭化担当大臣のもの表彰式が執り行われた。



左が松村祥史国土強靭化担当大臣、中央が佐藤社長



## 2. 堅ろう性・正確性・簡易性を実現した感電ブレーカー



### 大地震での大規模火災を予防する感電ブレーカー「瞬断」

公助を超えて、災害から自らの身を自ら守る

「瞬断」の設置方法 取り付けはとも簡単で、誰にでもできる



製品裏面の両面テープの剥離紙を剥がす

製品をコンセントに差し込む

アース線を接続して取り付け完了

東京都の出火防止対策促進事業で14万台、江戸川区の感電ブレーカー配布事業で7万5千台を納入済み。

地震発生時に設定値以上の揺れを感知すれば、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止めてくれる器具。設置が簡単で正確な作動と容易には壊れない堅牢性を併せ持つ。感振センサーには振り子の特許が使われている。トイレ、洗濯機置き場、キッチンなどにあるアース付きコンセントに差し込み、アース線を接続するだけで設置は完了する。

#### 遮断の仕組み

01



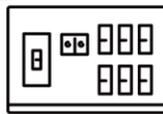
震度5強以上の地震を検知します。

02



基板上に供給されている商用電L(非接地側)から基板内抵抗を通してE(アース側)へ信号を流します。

03



漏電ブレーカーが信号を検知し、ブレーカーを遮断します。

## 3. 停電でも消えない電球



ソケットから取り外し手に持つだけで点灯

バッテリーを内蔵する停電しても消えない電球「tsuita」

停電時のみ直流のバッテリーに自動で切り替え約6時間点灯を続ける。ソケットから取り出して懐中電灯のように手持ちで使うことも可能。



2022年3月16日、首都圏210万世帯が停電した日の実際の写真。tsuitaのある住戸は明かりがともっている

## 4. 人生の大半は日常



防災製品であってもLEDで省エネ仕様。白熱電球から替えることで電気代を8分の1に節約。照明器具にライトとして取り付けるだけで充電できるので日常に使用可能。平時にも役立つ製品



電球タイプだけでなく天井設置型や直管型LEDなどもある。  
電源周波数は50/60Hz共用で全国どこの地域でも使える。

停電時でも日常と変わらない安心を確保できる。

## 5. 世の中に良い影響を与える会社を目指して

災害時に何が必要かを自分で把握して備える。その対策の一つとしてメーカーとして提案をしていくことが大切。自分の仕事を楽しみワクワクする方向に社員を導いていきたい。受賞をきっかけに人に認められる仕事をしているんだと気づいてもらい、みんなが未来を感じ、前を向いて仕事ができるようになったら何よりうれしいです。



「自分で考え、自分で決めて、まず自分から行動する」をモットーに走り続ける佐藤社長

これからもジェルコはSDGsにむけた取り組みをご紹介します。みなさまからのアイデアもご紹介させていただきます。ぜひ情報提供をお待ちしております。